

令和7年10月28日(火)、令和7年12月1日(月)15時30分から17時、泉佐野市立社会福祉センター2階大会議室にて、児童発達支援センター主催研修(3回連続講座)を開催しました。市内の小中学校、幼稚園、こども園、障害児通所支援事業所、障害児相談支援事業所、行政機関などの機関から参加がありました。

3回連続講座では、『家庭・教育・福祉の連携推進に向けて』をテーマに、子どもに関わる市内の各機関の支援者が、お互いを知り、役割を共有できる場を設定しました。

第2回は実際の事例をもとに家庭と教育、福祉の連携の様子について共有しました。

第3回は事例をもちより、子どもの特性を理解した支援の方法、他機関が関わる場面の連携の方法について、各グループで事例検討を実施しました。

事例検討では、『特性を理解し、お互いの役割を知ったうえで、統一した支援をするための連携』を全グループの共通のテーマとしました。その後、各機関の役割紹介、事例の共有、各機関でできる支援方法、各機関の連携方法の順で、討議を進めていきました。グループにより、話し合いのポイントも様々で、予定していた時間ではたりないほど討議が盛り上がる様子がみられました。

参加者の方々からは、「それぞれの機関の役割について、詳しく知ることができました。互いの悩みや考えを知る機会になり、共感できるところや新たな発見もあって学ぶことが多かったです。」「何度も連携して話していくことが、信頼関係にも連携にも繋がって適切な支援ができていくと感じました。」といった感想がありました。

来年度以降も、『家庭・教育・福祉の連携』の推進に向け、様々な研修を計画していきたいと考えていますので、ぜひ皆さんで連携について考えていきましょう。

